

公表	保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果
----	-------------------------

事業所名		公表日				2026年 1月 9日		
		利用児童数		36		回収数 30		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28	1		1	・リズムワークやボール遊びをする時は少しスペースが狭く危ないと感じる時はある。 ・とても広く、時には走っても子供たちがぶつかることがないほどのスペースがあると思う。	・角にはクッションをつけたり、遊び方に応じてマットで区切るなど、職員が安全面に配慮していることをフィードバックでお伝えします。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	30				・新しい先生へのフォローが出来るほどなので、先生の数はしっかり足りていると思う。 ・子供の数より職員数が多く、手厚く対応してくれてと感じる。 ・利用人数が一人でも、必ず2人以上の職員の方が見て下さり、安心できます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29			1	・子供たちが使いやすい片付けやすいと思う。 ・時計の印や、部屋の動物マークなど子供に分かりやすくなっていると思います。 ・物の配置やつくりが次の行動につながったり、理由がありとても良い。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29			1	・清潔にしてあり、安心して通わせられます。	・今後も日々の清掃や整理整頓を徹底し、清潔な環境維持に努めてまいります。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29			1	・子どもの力を発揮できるよう、時にやさしくいい意味で意地悪をしてもらえていると感じる。 ・現状に合わせたレッスンをしてくれています。 ・子どもの言語が心配なので、専門性のある支援を受けられて安心しています。 ・子どもの状況に合わせたプログラムになっていると感じます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28			2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30				・毎回、上手にまとめて文章にいただいています。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28			2		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	28			2	・出来たらおしまいではなく、しばらく経ってから再度同じことをしていただいているので、ありがたい。	・今後ご要望やお子さまの状況に合わせたプログラムを、検討・実施してまいります。
保護者への説明等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	4	7	11	・たぶん今まで一度もなかったと思う。 ・交流プログラムはないが、保育園に通っているので無くてもOKです。	・必要性を感じないというご意見もあるため、現状の取り組みを継続することが適切であると考えています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30				・最初の説明できちんと実施されていました。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	1			・しっかり時間をとって説明してくれています。 ・丁寧に説明してもらいました。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	3	5	8	・振り返りで行われている家族支援は、とてもためになることがある。 ・入口に家族支援動画のQRコードが掲示されていますが、案内をされたことはないで、案内があってもいいかなと思いました。 ・今まで受けた記憶がありません。 ・参加したことがないので分かりません。 ・家でできるトレーニングを教えてもらえるが、研修会があるかなどは分からない。 ・研修会は聞いたことがないので。	・家族支援の内容は「今日の家族支援は～」と分かりやすくお伝えし、本部発信の情報も保護者向けチラシとして教室に掲示するなど、積極的に案内していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	28	1		1	・おしゃべりな私の話をどの先生もしっかりと聞いてくれます。 ・連絡ノートに書いているので、先生たちと共通の理解ができていると思います。 ・日々の様子を丁寧に伝えていただき、家庭で取り組めることも教えてもらい、有難いです。 ・振り返りもしっかりしていただき、出来なかったことなど分かりやすいです。	・保護者さまの状況、立場を考え、共感しながら子どもさんの話を聴くようにし、職員共有も行っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	1			・毎回してもらっているし、私が質問すれば必ず返答してもらえます。 ・些細な困りごとでも、相談すると話を聞いてくれたり、助言をいただけて前向きに考えられるようになりました。 ・レッスン内容に応じて家での対応の仕方も教えて頂けるのがとても参考になります。 ・定期的に面談があり、子どものことを聞いてもらえるので安心しています。	

	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	1			・これは、とても思う！本当に有難いです！	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	5	11	12	・だぶん行ったことはないと思う。 ・父母会があれば参加したいと思います。 ・保護者同士では、挨拶程度でよく分からない。 ・保護者会は聞いたことがないので。	・開催に向けて、教室内で検討してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23	2		5	・常にもしてもらっています。 ・相談したり、意識したことがないので分かりません。	・相談しやすい環境づくりに努め、契約時にも「相談業務を行っています」とご案内させて頂いております。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29			1	・毎回丁寧に伝えてくださいます。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	3		6	・LINEの活用は便利の為、今後も引き続きお願いしたいです。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28	1		1	・別の方の予定表控えが入っていたことがありました。	・個人情報の管理については、誤りがないようダブルチェックを徹底致します。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	1	1	2	・訓練をしました！と、いう話を聞かせてもらっています。 ・避難訓練の際は、きちんと報告を事前にしてくださいます。	・ホームページで発信している訓練の様子を、紙でも玄関に掲示するなど、より分かりやすく周知していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29			1	・定期的に行われています。 ・短い時間の中で、定期的に訓練していただいています。また、訓練の日は、ハーネス等を着ける説明もしていただくので、有難いです。 ・定期的に訓練が行われており、安心できます。 ・ハーネス訓練の報告を受けました。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	2		7	・送りに行ったときに体の状態について、私よりしっかりと見ていただいています。 ・今まで該当する状況がなかった。そのような場面がなかった。ケガをしたことがないので分かりません。	・ケガや事故が発生した場合は、必ず帰りに保護者へ報告し、緊急時には速やかにご連絡いたします。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	28	1		1	・問題なく通っていて先生にもなついている。 ・行きたくないという時もあるが、行ってしまえばとても楽しめている。 ・防犯管理がしっかりしていて安心です！ ・帰ってくるときいつも楽しそうにしているので、安心感を持って通えています。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	27	2		1	・毎回楽しみに通所しています。ありがとうございます。 ・疲れていると行き渋ることもあるが、だんだん慣れてきてスムーズに入室できている。 ・とても楽しみにしています。放課後デイのサービスも作って下さい！！ぜひ、通わせたいです。 ・通所後はとても機嫌がよく、楽しんでいると思います。 ・いつも「てらびあ行く？」と楽しみに言っています。 ・夏休みの時は、「早くいきたい」とよく言っていました。「今日は、てらびあ行くよ」と言うと嬉しそうな顔をします。	・セラピー内容や玩具、取り組みについては、次回につなげる声掛けを行い、お子さまが楽しみに通所できるよう工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30				・まだまだ成長段階ですが、支援を通して大きく成長できたと思います。ありがとうございます。 ・大満足です。あと半年ほどで卒業なのがとても寂しいです。もっと通いたいです！！ ・幼稚園では、小集団で遊んだりすることもあるそうですが、ついていくのが難しい時は一人遊びになってしまうので、てらびあでは、必ずお友達と関わって、先生に見守ってもらいながら成長できそうです、期待しかありません。 ・とても満足しています。 ・いつもありがとうございます！	

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
てらびあぼけっと四日市久保田教室		2026年 1月 9日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・とても広い。十分スペースがとれている。 ・個室内で体を動かせるくらい十分なスペースがある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・急な休みなどの場合でも、教室間で助け合っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・バリアフリー化に努めている。 ・玄関にスロープを置いたり、バリアフリーに配慮している。 ・玩具の配置等考えられている。 ・玄関にスロープを設置したり、幼児用トイレを設置したりしたりしているので、安全で使いやすい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・掃除を日々頑張っている。 ・朝晩と清掃を行い、玩具の配置も都度見直しを行っている。 ・清掃は丁寧に行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・着替えなどを行う際には、特に環境に配慮を行っている。 ・個別や大部屋等、セラピーや児に合わせて行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		・終礼で情報を共有し改善に取り組んでいる。 ・ミーティングで確認、実行されている。 ・内容を充実させるために、振り返りの共有を年に一度程度しても良いと思う。(埋もれると適当になってしまいそうなので)	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・内容を書いていただけるよう声掛けを行っている。 ・西浦教室での意見を参考にスロープ設置など配慮した。 ・評価表でのアンケートを行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・終礼で出た意見は、すぐ上げている。 ・ミーティングを行っている。 ・風通しがよく意見が言いやすい環境。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		・第三者からは分からないが本部から監査に来ている。 ・本部が内部監査を行っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・様々な研修に参加している。 ・本部が開催している、てらぼけラボを受講している。 ・毎月てらぼけラボを受けられて良い。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・子に合わせて頑張って考えている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		・半年ごとに計画を作成、カンファを行っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・カンファレンスを行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・カンファレンスをしっかり行っている。 ・カンファレンスを行い、プログラムを考える際は計画を見るよう伝えている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・専門的支援や個別プログラムのアセスメントを活用している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・具体的な内容を記載できるように職員全員で共有し話し合っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・たくさん話して情報共有している。 ・自発管への相談や先輩職員からのアドバイスなどが学びになっている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・都度、チェックしている。 ・担当と児発管で相談している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		・担当と児発管で相談して行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・計画を全員で確認し、情報共有ができるよう努めている。 ・朝礼で確認している。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・休みの職員にも共有できるよう、記載をしている。 ・終礼で確認している。 ・時間内に終礼が終わり、情報共有が過不足なくできている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・口頭で共有したことを情報共有シートや行動シート、日報に残している。 ・データを記録し共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・しっかりモニタリングを行い振り返り、再計画を立てている。 ・児発管と相談員で行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・児発管又は、担当が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・見学時に受け付けている。 ・担当者会議に児発管、担当が参加している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		・保護者を介して情報を共有することがある。 ・担当者会議に児発管、担当が参加している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		・児発管が行っていると思うが詳細には把握できていない。 ・要望があれば、モニタリングシートなど支援内容等情報を共有している。 ・小学校からの問い合わせに対応したことがある。	・就学後の様子を把握することで、次年度の就学に向けての取り組みに活かせる事が出来るので、今後取り組みたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		・モニタリング等、相談員さんと話をする中で助言等いただくことがある。 ・本部の研修をうけている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5	・地域での交流はない。 ・現行のまま無して良いと思う。 ・保育園や幼稚園を併用しているお子さまが多く、園の先生方に教室見学として来ていただいており、交流している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・毎回のフィードバックで、共通理解を持てるようにしている。	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		・情報提供は行っているが、研修などは実施なし。 ・フィードバックでは、保護者に合わせた家族支援を考えている。 ・毎回のフィードバックと家族支援を行っている。 ・毎回何かしら提案しなくてはならないので、内容のバリエーションを増やす努力が必要と感じる。	・家族支援の取り組みについて、積極的に周知・アピールをしていきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・なるべくわかりやすいよう、具体的に伝えることを意識している。 ・契約時に行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・契約時に行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		・文章を読み上げるだけでなく、実際取り入れる内容も併せて伝えている。 ・契約時に行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・必要に応じて、面談時間をつくるようにしている。 ・個人面談時に行っている。	・フィードバック時にも気軽に相談できる雰囲気づくりを意識していきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		・現在、父母会や保護者会など保護者同士の交流の場は設けていませんが、希望される方が少ないことが現状です。 ・フィードバックの待ち時間に交流されている様子はありますが、今後ご要望があれば開催も検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・すぐに改善できることは、行っている。 ・終礼等で、周知・相談・上司に報告している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・公式LINEやHPでもっと活動など情報を発信しても良いかとは思ふ。 ・HPやLINEを活用することで、スポット利用は増えたと思う。 ・LINEアカウントがあると連絡が取りやすいので、続けていきたい。	・HPや公式LINEでの情報発信をさらに周知し、保護者への認知度向上に努めてまいります。

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・鍵付きの書庫に保管、退社前には鍵をかけたかダブルチェックを行っている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・保護者によって受け取り方が違うため、言葉選びに配慮している。 ・フィードバックを状況に合わせて短くするなどの配慮も学んだ。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		・災害時などには地域の協力が必要となるため、施設の存在を地域住民に周知していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・新しくLINEを活用することで、家族への周知もしっかりと行えた。 ・防災訓練、避難訓練等を行っている。 ・訓練など丁寧に想定して実践的にできている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・非常災害や感染症が発生した場合に備えている。 ・計画やマニュアルの読み合わせを行い、様々なパターンを想定して話し合いを行う。 ・防災訓練、避難訓練等を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・フェイスシートやアセスメントシートの内容を確認している。 ・特記事項、情報共有などに記載を行っている。 ・入所時の情報共有や、保護者から聞いた時点で終礼等で共有している。	・定期的な服薬や薬の変更がある場合は、保護者へ都度ご連絡いただくよう案内し、情報の漏れがないよう努めます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	・食品の取り扱いはないが、情報としてはフェイスシートに載っている時は把握している。	・食事提供がないため、対応なし。（医師の）アレルギーの聞き取りは行っている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・常に安全に気を配り、ヒヤリハットも気づき徴候であげるようにしている。 ・安全計画をもとに、水道や機器の点検を行っている。 ・地域の消防署にて災害について学んだりAEDの練習ができたりして大変良かった。	・安全計画に基づく取り組みは玄関掲示により保護者へ周知し、消防署での研修等もHPで発信するなど情報提供を強化します。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・手つなぎなど、掲示や声掛けを行っている。	・登所時の安全確保のため、車から降りる際の注意事項などを全体に周知し、事故防止に努めます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・対策などを考え、配慮を行っている。 ・終礼での声掛けを行っている。 ・書式を改善したり、書き方を全体で統一するよう振り返ったり、意識高くできている。	・同様のヒヤリハットが繰り返される場合は、他教室の対策事例も参考にし、再発防止策を検討します。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・年に数回の虐待防止委員会が開催されており、適宜研修やヒヤリハット検討会をしている。 ・ヒヤリハットと共に挙げることで、全体に周知を行い検討することができている。 ・虐待の認識を再確認し、書式の改訂を繰り返し行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1	・説明の概要は聞いたことがある。身体拘束を行った例がないので計画には記載していない。 ・身体拘束的低下委員会を定期的に開催している。 ・契約書類に記載があり、説明を行っているが、計画にはない。	・身体拘束を行う場合は、計画への記載や書式の確認を徹底し、適切な運用を行います。

公表	児童発達支援事業所における自己評価総括表
----	----------------------

○事業所名	てらびあぼけっと四日市久保田教室		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日 ～ 2025年 11月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日 ～ 2025年 10月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・全体ミーティングや本部研修を通じて、ABAに基づいた一貫した支援を実施しています。	・情報共有の方法を統一し、ミーティングでは職員が積極的に発言しています。	・必要に応じて随時見直しを行い、本部内の段位試験にも積極的に挑戦していきます。
2	・ABAに基づいたプログラムの中で、個々に合った支援（作業課題等）を実施しています。	・本部ラボの受講や職員同士の意見交換を積極的に行っています。	・外部研修やSNSも活用していきます。
3	・個別から集団般化への支援を行っています。	・ソーシャルセラピー（共同療育）や一人一人のニーズに合わせた支援内容を計画し実施しています。	・他教室の事例も参考にしながら、意見交換や改善に努めていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者に対して実施している取り組みの周知が十分でないことが課題。	・HPの活用が少ない。 ・玄関の掲示、フィードバックでの案内が不十分など。	・ホームページの活用や、玄関掲示・フィードバックでの案内が不十分なため、今後はHPで職員研修等の情報を発信し、掲示やLINEでも周知を強化します。 ・フィードバック時には「家族支援」など具体的に伝え、年間計画（安全計画）も掲示していきます。
2	・保護者同士や兄弟児の交流の機会が設けられていないことが課題。	・母子分離のため希望されない保護者もいること、曜日や時間の調整が難しいことなどが要因。	・ご要望があれば今後検討していきます。
3	・就学後の支援が十分にできていないことが課題。	・事業所内で出来る範囲のみの支援を行っている。	・各就学先に合わせた支援を行っていますが、今後は卒業児の集まりやアンケートの実施も検討していきます。